

## 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ資源物とごみの出し方

新型コロナウイルスなどの感染症対策は、外出時だけでなく、資源物やごみを出すとき、回収・処理するときにも必要です。特に4月以降は、自宅で過ごす時間が多くなったことで、家庭から出される資源物やごみが増加しています。皆さんのご家族や収集運搬・処理作業員が安心して生活し、活動していくためにも感染症拡大を防ぐ資源物とごみの出し方についてご協力をお願いします。

家庭ごみを出す場合は、右の「新型コロナウイルス感染症対策のためのごみの出し方」を守ってください。生ごみの水を切ってごみの重量を減らすとともに、袋の口をしっかりと縛って中身がこぼれないように注意しましょう。特に、作業員が袋を開封して再分別のためにごみに触れる必要がないように、いつも以上に正しい分別を心がけてください。

収集運搬作業では、右の「資源回収業者が取り組んでいる感染症対策」のように、十分な感染症対策を行っています。また、ご家庭に感染症の感染者やその疑いのある方がいらっしゃる場合には、下の3項目を守って、感染が拡大しないようにご協力をお願いします。

### ■ 新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのごみの出し方

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| <b>1</b> ごみ袋はしっかり縛って封をしましょう | ごみが散乱せず、収集運搬作業においてごみ袋を運びやすくなります。            |
| <b>2</b> ごみ袋の空気を抜いて出しましょう   | 収集運搬作業において、ごみ袋を運びやすくし、収集車での破裂を防止できます。       |
| <b>3</b> 生ごみは水切りをしましょう      | ごみの量を減らすことができます。                            |
| <b>4</b> 普段からごみの減量を心がけましょう  | 購入した食品はできるだけ食べきるなど、食品ロスをなくし、ごみを出さないことも大切です。 |
| <b>5</b> 分別・収集ルールを確認しましょう   | 横浜市のホームページで確認してください。                        |

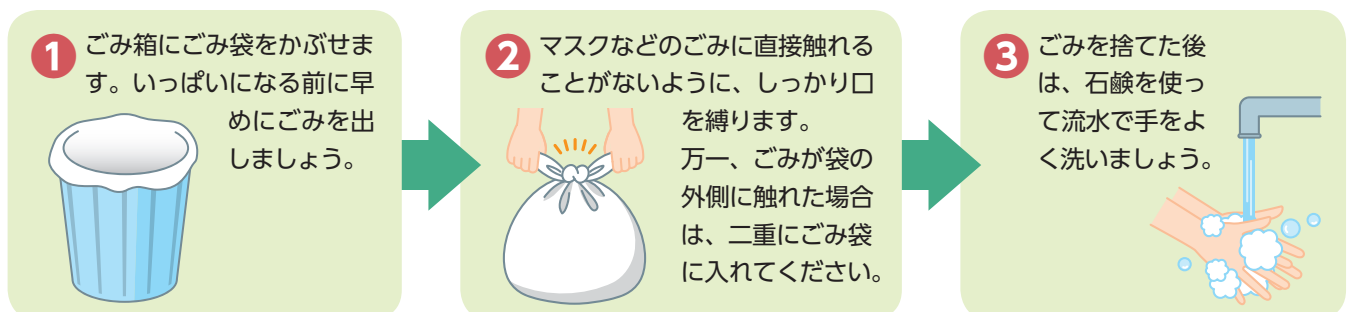
※環境省・感染症対策のパフレットを基に内容を抜粋し、横浜市の対策に合わせてアレンジしています。

### ■ 資源回収業者が取り組んでいる感染症対策

作業前の対策	作業中の対策	作業後の対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康管理・体調把握の実施</li> <li>②3つの「密」の回避</li> <li>③手袋、ゴーグル、マスク等の防護具の適切な着用</li> <li>④肌の露出が少ない作業着の着用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①素手で触らない</li> <li>②こまめに消毒</li> <li>③車の換気</li> <li>④休憩中の3つの「密」の回避</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「車両・運転席」「スマホ・タブレット」「手袋・ゴーグル」などの消毒・洗浄の徹底</li> <li>②手洗いの徹底</li> <li>③作業着、防護服の着替え時等での注意</li> </ul>

※環境省・感染症対策のパフレットを基に内容を抜粋しています。

### ■ 新型コロナウイルスなどの感染症の感染者、または感染の疑いのある方の使用済みマスク等の捨て方



※環境省・感染症対策のパフレットを基に内容を抜粋しています。

# キャップ付き牛乳パックはできるだけ プラ製キャップと注ぎ口を分別しましょう

最近、牛乳パックにプラスチック製の注ぎ口とキャップが付いたタイプの製品が登場し、普及しています。従来はパックを洗って切り拓き、乾かして出していました。プラスチック製のキャップ付きタイプはどのように対応すればよいのでしょうか。関係各所にお話を伺いました。

## キャップ付き牛乳パックとは？

プラスチック製のキャップが付いた紙パックは、2013年頃から見かけるようになり、当初はヨーグルト飲料や果汁飲料の容器として使用されていました。牛乳パックには2014年頃からは使われるようになり、2016年あたりから牛乳メーカー各社に採用され、現在も使用が拡大しつつあります。

キャップ付き牛乳パックは、従来のタイプに比べて開封しやすく、開封後も気密性が高いため、保存性がよいという特徴があります。そのため、臭いが漏れないので冷蔵庫が臭くならない、注ぎやすい、運びやすい、倒れてもこぼれない、注ぎ口に手を触れないので清潔である、などと評価されています。また、全部消費するまでに時間がかかる一人暮らしの若者やシニア層から支持されているというデータもあるようです。

飲み終わった牛乳パックは、中をよく洗ってからパックを切り開き、乾かしたうえで古紙として資源集団回収に出すという手順になっています。しかし、キャップ付き牛乳パックは、キャップは外してプラスチックとして分別しても、注ぎ口がパックと一体化しているため、従

来の手順で古紙回収に出すと、古紙にプラスチックが混入してしまうことになってしまいます。牛乳パックは品質の高い紙(バージンパルプ)が使われているため古紙の中でも貴重なのですが、プラスチックが混入すると品質の低下を招くことになってしまうのです。



## 大手メーカーが推奨している分別法

大手の牛乳メーカーでも、消費者からキャップ付き牛乳パックの分別について問い合わせが多いようで、ホームページのお客さま相談室などのコーナーで対応方法について答えています。

明治乳業のホームページでは、キャップと内フタは「プラスチック」、容器本体は「紙パック」に分別されると説明しています。そして、「資源有効利用促進法」では、複合素材でできた容器は、重量ベースで最も比率が高い

素材で分類されるため、容器全体を「紙パック」としてリサイクルに出すことができるとし、注ぎ口がついたままでも、他の牛乳パックと同様にリサイクル処理されると紹介しています。

雪印メグミルクや森永乳業も同様の説明がされています。さらに、3社とも容器本体の開き方を細かく紹介したうえで、廃棄の際は自治体のルールに従って処分してください、と説明しています。

大手メーカー  
による分別方法

キャップ、内フタは「プラスチック」、容器全体は「紙パック」に分別する

注ぎ口はプラスチック製だが、容器本体につけたままで紙パックとして処理される

容器の中をすすぎ、各社が紹介する方法で容器を解体し、開く

## 関係各所の分別への対応方針

### ●自治会・町内会(青葉区某自治会)

キャップ付き牛乳パックは、面倒でも注ぎ口まで切り取って分別した方がよいと思っています。1つの家庭から牛乳パックはそれほど大量に出ないので、注ぎ口くらいよいかと思うかもしれませんが、回収すると大量になると思うので、手間をかけてもきちんとしないといけないと考えています。ただし、現状では、集積所を見回しても、それほどキャップ付き牛乳パックを見かけません。しかし今後、このことが問題になるようであれば、住民の方々に周知し、自治会全体で取り組んでいきます。

### ●古紙問屋(横浜市内の紙問屋)

紙パックのうち、キャップ付きは1割未満ですが、そのほとんどに注ぎ口がついています。これは異物なので、できれば取り除いてほしいです。しかし、現状ではそのまま製紙メーカーに送ってもクレームになったことはありません。逆に言えば、まだその程度の量しか混入していないということです。こちらでも目についたものはできるだけ注ぎ口を取り除いていますが、とても取りきることはできません。今後、キャップ付き牛乳パックが増えるようであれば、対策が必要になると思います。

### ●製紙メーカー(A社)

キャップはプラスチックとして分別していただいているようですが、注ぎ口はほとんど付いたままです。しかし、弊社では注ぎ口まで取り除くことは要求していません。取り除くのが面倒だと考えて紙パックそのものを燃やすごみにされてしまうほうが困るからです。

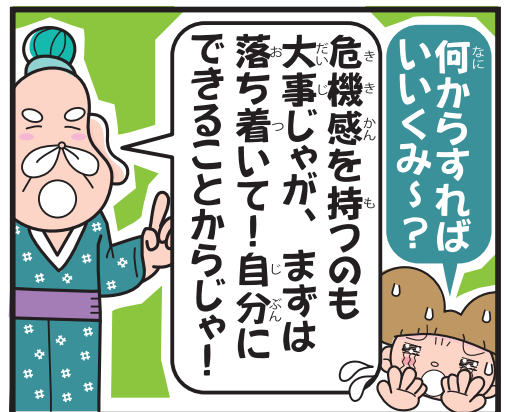
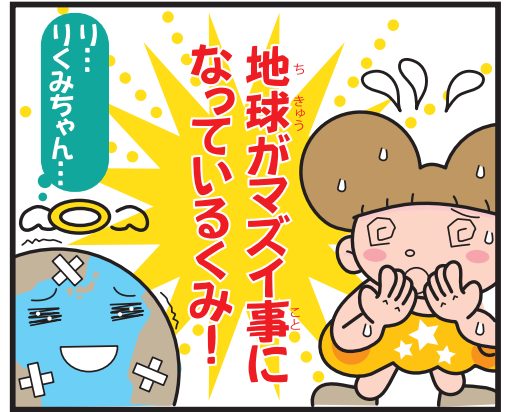
現在の量であれば、混入していても問題なく製品を作れます。しかし、混入が多いと古紙として買い取る際に価格を下げるなどの対応をしますので、注ぎ口が付いていないことにこしたことはないと思います。

### ●製紙メーカー(B社)

現状は製品を作るうえで妨げになることはありませんが、キャップや注ぎ口はプラスチックですから廃棄物の量は増えています。弊社は自社焼却炉を持っているのでサーマルリサイクルなどに活用しています。今は問題になっていませんが、古紙の取引は重量で価格が決まるので、プラスチックの注ぎ口が付いた紙パックの比率が多くなると何らかの対策が必要になります。今後は、どれくらいキャップ付き牛乳パックが増加し、注ぎ口が分別されるようになるかによると思います。

### ●横浜市(資源循環局)

横浜市では、プラスチック製のキャップ付き紙パックについて、キャップを「プラスチック製容器包装」、容器本体を「古紙(紙パック)」に分別していただいています。古紙問屋さん、製紙メーカーさんのことを考えると、注ぎ口まで取り除くのが望ましいと思いますが、付いたままでも「古紙」の回収日にお出しいただけます。紙パックは貴重な資源物ですから、燃やすごみではなく、「古紙」としての分別をお願いいたします。



## リサイクル組合の「再生品」のご紹介

### ●ティッシュペーパー「コアレックスティッシュ」

外装がフィルム包装のため、コンパクトで持ち運びやすく、水回りにも安心して置くことができます。資源回収された牛乳パックからリサイクルされた製品で、1パック200組のティッシュペーパーが1ケースに60パック入っています。しっとりとした手触りで、表面もしっかりと目が詰まっています。

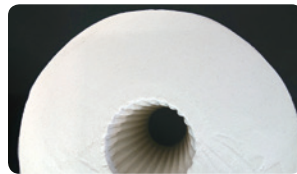


1ケース **5,480円**  
(6パック入り×10・60パック)



### ●トイレトペーパー「業務用ワンタッチコアレス」

長さ130mというボリュームで、1ケースに60ロール入りの大容量。横浜市内で集められた古紙も使用されている地産地消のリサイクル製品です。ふんわりした手触りで、しっかり目が詰まっています。芯なしなので、最後はそのままトイレに流すことができ、ゴミが出ないエコなトイレトペーパーです。



1ケース **4,980円**  
(6ロール入り×10・60ロール)



### ●紙ひも 小結くん

牛乳パックから再生した紙ひもです。新聞や雑誌を束ねるときに使えば、丸ごとリサイクルできるので手間と時間が省け、ごみの減量にも貢献します。

箱売り1箱(50巻)

**11,550円**



### ●コピー用紙 再生PC用紙

古紙配合率70%以上のグリーン購入法適合商品のコピー用紙です。文書や簡単なイラストなどの印刷には十分対応できます。

1ケース(1包500枚入・5包)  
※A3のみ3包  
B5・1ケース **1,900円**  
A4・1ケース **2,620円**  
B4・1ケース **3,400円**  
A3・1ケース **3,120円**



■ご注文・お問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局

TEL：045-444-2531 E-mail：mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。



リサイクルデザインの発行予定

2020年冬号：12月25日

2021年春号：3月25日

2021年夏号：6月25日

2021年秋号：9月25日